

今に息づく 時の宝物

Chronology

縄文時代	別府前遺跡 別府堤尻遺跡 〈一武・別府/本別府〉
弥生時代	夏女遺跡 〈木上・高原〉
古墳時代	亀塚古墳群 京ガ峰横穴群 四ツ塚古墳群 〈西・内門〉 〈西・京の峰〉 〈木上・平野〉
古代	下り山須恵窯跡群 釈迦如来坐像 岩城 〈一武・狩政〉 〈木上・荒田〉 〈木上・岩城〉
中世	木本神宮 二宮神社 迫の庚申塔 新宮寺六観音 窪田越後一族の墓 〈木上・岩城〉 〈木上・覚井〉 〈木上・迫〉 〈西・久保宇野〉 〈木上・岩城〉
江戸時代	円鏡庵跡 安心の供養碑 丸目藏人佐長恵の墓 桑原家住宅 百太郎溝 幸野溝 木上溝 焼耐墓 〈二武・本別府〉 〈西/一武/木上〉 〈二武・切原野〉 〈二武・狩政〉 〈二武〉 〈二武〉 〈木上〉 〈木上・平良/目郎〉
明治時代	西南戦争従軍記念の灯籠 日露戦争戦捷紀年碑 大正初年の耕地整理記念碑 くま川鉄道橋梁群 人吉海軍航空基地跡
大正時代	〈木上・迫〉 〈木上・山下〉 〈西/一武/木上〉 〈木上〉
昭和時代	〈木上〉

Nishiki Life
History
歴史を慈しむ
連綿と流れる時間が残した
宝物を愛でる。
それが、ふるさと。



一武八幡宮



京ガ峰横穴群



新宮寺 木造六観音坐像



桑原家住宅



球磨川第四橋梁



荒田観音堂
木造釈迦如来坐像

一 武八幡宮：心神天皇、神功皇后、玉依姫命を祀る神社。一武内村集落にあります。建立時期は不明ですが、嘉吉四年（一四四四）にこの地に遷座したとの記録があります。例祭日は十一月二十日で、戦前は相撲、神楽、弓道などが行われ賑わいを見せていました。近年は、人気アニメの聖地巡礼スポットとして注目されています。

京 ガ峰横穴群（県指定史跡）：六世紀後半に造られたと考えられ、球磨川と川辺川が合流する地点から南側の阿蘇溶結凝灰岩の崖面にある横穴群です。入り口の周りに靱（ゆぎ）や、剣、盾、車輪状文が浮き彫りと彩色で表現された最南端の装飾古墳です。

木 造六観音坐像（町指定文化財、日本遺産構成文化財）：天正四年（一五七六）、火災により全焼した焼け跡から六寸ほどの金色の仏像が見つかったことから、十八代相良義陽が新たに六体の観音像を造立することを発願し、天正五年（一五七七）から寛永七年（一六三〇）の五十三年の間に彫像されています。年代を追ってそれぞれ違う仏師が彫像していることが大変珍しいといわれています。

桑 原家住宅（国指定重要文化財）：かつて人吉球磨地方に多く見られた鉤屋（かぎや）型の民家で、建築は江戸時代後期の文政（二八八〜三〇〇）の頃といわれています。主屋は「さしき」「あらけ」「なかのま」が一列に並ぶ棟と、これに直角につながる「だいどころ」「どうじ（土間）」の二部屋がある棟から構成されています。

球 磨川第四橋梁（国登録文化財）：大正十三年（一九二四）に建造された、十四連のデッキ・ガード構造の桁で構成された橋梁です。三三〇メートルという旧国鉄湯前線建設において最長の橋梁です。当時の最先端技術を積極的に取り入れ、施工されました。

木 造釈迦如来坐像（県指定重要文化財）：像高九七センチ、ホ木材を使用した割削造（わりはぎづくり）で、胎内に「奉造立釈迦如来像・天台僧林与・保延七年二月十四日」と墨書銘があります。保延七年（一一四一）とは平安時代後期、相良氏の球磨郡入国以前で、当地を支配していた平河氏が造立したものと考えられます。年紀の銘を有する仏像では球磨郡で最も古い仏像です。